



マインドマネジメントをサポート

クラリティマインド

代表

鮎川詢裕子さん

相手の立場に立った言葉を用いることで初めて伝えることができる——。クラリティマインド (E-mail=info@clarity-mind.com、URL=www.clarity-mind.com) 代表の鮎川詢裕子さんは、「どのようにビジョンを描き、関係性を築きながらゴールに向かって実現していくのか」に向けたマインドソリューションを手掛けている。スタッフ一人ひとりの心の持ち様が業績に大きく影響することをポイントに、企業の組織力向上をサポートしている。

商社に勤務時代、経理、経営企画や社長秘書などで各部署間のパイプ役として勤務していた鮎川さんは、スキルだけでなく各スタッフのマインドが仕事の成果に与える影響の大きさを痛感。第三者の立場で、企業向けに意欲や共感力といった「気持ち」に焦点置いたマ

インドソリューションをビジネスとして展開することを決意し、07年自ら同社を立ち上げた。

現在、経営者や中間管理職者など組織を束ねる役職にある顧客に対し、社員との円滑な関係構築に繋がる様々なソリューションを個々の状況や要望に合わせてながらコーチングトレーニングを通じて提供。中でも注力するのがリーダーシップを主題とするコーチングで、それによる内省がもたらす効果は大きいという。鮎川さんは、「リーダーの方々に接しながら、その方を通じ組織全体が変わるプロセスに立ち会うことができるのが仕事の醍醐味ですね」と語る。

リーダーに多い課題の一つが、本人はがんばっている、部下にはその思いが伝わっていないことだという。「コミュニケーションの成果は、話し手の論理ではなく、相手がどう受け取ったかで決まります。相手の世界に好奇心を持ち共通する目的を見出していくことがカギです」(鮎川さん)。一方で、鮎川さんはただ解決に繋がるアドバイスをするのではなく、実際に現場でどう役立てるのか自ら気づき、表現していくのかに重点を置く。自分で気づき得た答えだからこそ、確実に実践に移せるからだ。

商社勤務時代、中国ビジネス推進室にも在籍した経験も持つ鮎川さんは、駐在員のビジョンの実現と課題解決に向けたサポートの大きな潜在的ニーズを感じ、今年から上海での活動にも乗り出した。「今、グローバル社会に我々がどう対応していけるかが問われています」(鮎川さん)。

すでに上海で定期的にセミナーも実施しており、参加した企業の中からは「もっと早くに知っていればと思うような新鮮で役立つ内容」という声が寄せられ、好評を博している。鮎川さんは今後も上海で地道にセミナー活動を行い、同サービスを広めていきたいという。